いけだ IKEDA

議会だより

3月定例会 No.140

平成23年5月1日

発行：岐阜県池田町議会

★3月定例会 2～3p
★質疑あれこれ 4～5p
★一般質問 6～11p
★きらり・編集後記 12p

宮地小3年生による昭和15年頃の農民道場再現（肥桶で農民道場へ）

農民道場の跡

みのカッパを着ての草取り

竹やり訓練

第１回定例会

3月7日
▼
3月29日

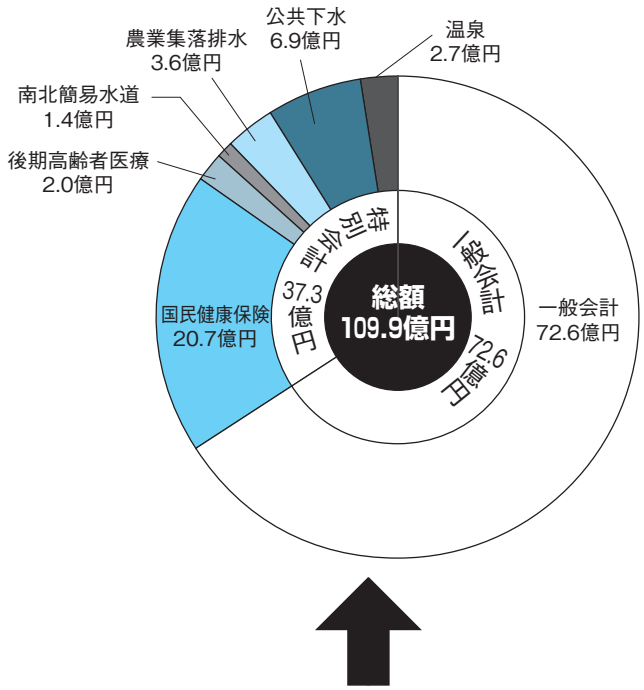
平成23年度予算可決

一般会計　72億６千万円（前年当初比３％増）
特別会計　37億３千万円（　〃　　１％減）

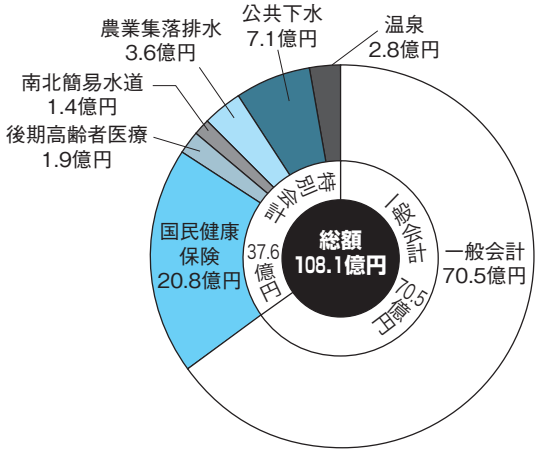
総額　109億9千万円（前年当初比1.7%増）

百万円以下は四捨五入

平成23年度当初予算



平成22年度当初予算



百万円以下は四捨五入

今定例会の内容

◎ 町長の23年度予算提案の説明

本年度の主な施策
- 子育て・障がい者・高齢者支援対策事業
- 観光交流事業
- 下水道整備事業

◎ 副町長に前総括部長、牛嶋勝一氏を選任同意

◎ 人権擁護委員候補者の推薦
- 再任　谷口義廣さん（片山）
- 新任　清水敬子さん（粕ヶ原）

◎ 22年度補正予算の審議・可決

◎ 23年度予算の審議・可決

◎ 条例の改正・制定、各１件

◎ 町道の路線変更・認定

◎ 23年度議会人事

議　　長	岩谷真海
副 議 長	竹中芳弘
監査委員	松岡正彦
総務建設産業委員長	遠藤和雄
民生文教委員長	松岡雅子
議会運営委員長	牧村　隆
議会広報編集委員長	野網義一

議長・副議長就任あいさつ

副議長　竹中芳弘

議長　岩谷真海

町民各位におかれましてはご健勝にお過しの事と拝察致しお慶び申し上げます。

この3月11日、東日本大震災、大津波、原子力発電所事故と三つが重複する大災害が発生致しました。その被災者、被災地の方々には、謹んでご冥福と御見舞いを申し上げ、一日も早い復興と平常の生活にもどれます事、心よりお祈り申し上げます。

その様な中、3月町議会において、正副議長の重責を担う事となりました。浅学非才の身ではありますが、皆様のご支援を頂き、その職を務めたく存じますのでご協力の程お願い申し上げます。

さて、本年度は、災害に強い、安全、安心のまちづくりとして、自主防災組織、災害ボランティアの拡充に努めなければなりません。

また、事業として、障がい児タイムケア事業の定着化。道の駅開駅式。町民、議会、行政が協働でまちづくりをする為の自治基本条例の制定。24年度校舎改築予定の八幡小学校の実施設計。ぎふ清流国体に向けての施設整備とリハーサル大会の実施等を進めなければなりません。

町民各位のご理解とご指導の程お願い申し上げます。

監査委員選任同意

松岡正彦

池　田　町
平成23年度　町税収入（当初予算）総括表

（単位：百万円）

区　分	細　目	本年度	対昨年比	構成比
1. 町民税	個人分	1,010	△9.1%	38.1%
	法人分	125	37.9%	4.7%
	計	1,135	△5.5%	42.8%
2. 固定資産税	土地	486	0.1%	18.3%
	家屋	629	3.4%	23.7%
	償却資産	261	△1.8%	9.9%
	計	1,376	1.2%	51.9%
3. 軽自動車税		50	1.9%	1.9%
4. 町たばこ税		91	7.5%	3.4%
5. 鉱産税		1	△14.7%	0.0%
計		2,652	△1.6%	100.0%

今年度注目の施策

- コミュニティバス運行委託業務
  （マイクロバス１台購入　計３台）
  5,473万円
- 住宅用太陽光発電システムの設置補助金
  120万円
- 不妊治療費の助成
  80万円
- 地域医療拠点施設、最先端機導入負担金
  （揖斐病院のＸ線診断機器　ＭＲＩ以上の物）
  1,000万円
- 国体推進費（11月、リハーサル大会）
  4,447万円
- 道の駅事業費（７月24日道の駅オープン）
  １億9,980万円
- 八幡小学校校舎改築実施設計委託料
  4,865万円
- 24時間対応の定期巡回・随時対応サービス事業費
  1,880万円
- 病児・病後児保育事業
  541万円
- 障がい者タイムケア事業
  393万円

質疑あれこれ

3月議会に上程された議案の中から主な質疑を要約してお知らせします。

◆総務建設産業委員会◆

問 町道片山46号線(道の駅内)の一部県道になるが、県道と町道の区分根拠は。

答 道の駅の関連もあり県と協議するなか路線変更としたが、今後、県道昇格を要望していきたい。

問 池野87号線(北池野駅の線路東駐車場)は、なぜ路線認定する必要があるのか。

答 路線認定される先に町の土地があり、道路新設も含め駐車場を整備するため。養老鉄道の側道としての延長は今後考えていく。

問 事業補助金の減額が多項目にわたる。継続事業の場合、年度内での事業拡大は出来ないか。

答 例えば地籍調査は、年間計画のなかで、事業区域設定や作業内容を計画・実施した後の実績確定での返金であり、次の区域への事業拡大は制度的に困難。

問 今冬は大雪となったが、除雪の方法は。

答 除雪基準で通勤など要望の大きい幹線道路から行い、その後地域へ入って行くので、時間の差が出てくる。

大雪のため、早朝や夜間も除雪

問 下水道工事の際、ガードマンがいない場合が見受けられた。

答 基本的にはガードマンを配置するべきであり、安全確保のためにも必要なので業者を指導する。

問 水道料金の滞納者対策は。

答 昨年から収納プロジェクトチームをつくり進めてきた。今後は、悪質な場合には給水停止も含め滞納整理に努める。

問 道の駅の開駅式と駅長業務の内容は。

答 式典内容は、歌謡ショーや餅まき等各種イベントを計画している。駅長は公募し決定する。業務は、日常管理業務、イベント調整、テナントのとりまとめ、事務連絡調整など。

問 道の駅オープンに合わせて、特産品の開発のため、コンクールなどを実施しては。

答 岐阜農林高校と特産品開発の協定を結んでいるが、農産物生産者、NPO、JA等各種団体と連携し町としても積極的に関わっていきたい。

問 固定資産税地図システム、地積調査図面、農地図面などの地図データの一元化はできないか。

答 それぞれの目的別に作成されているが、関連のあるものは相互利用している。

問 コミュニティーバスの購入時期とその後の展開は。

答 8月頃までに導入し、温泉バスの巡回コースを基本として、病院や公共施設等を回れるようにする。

路線拡大が望まれるコミュニティバス

◆民生文教委員会◆

問 障がい児タイムケア事業が実施されるが池田ふれあいサポートセンターの設置条例の必要はないのか。

答 旧ふれ愛の家である池田町ふれあいサポートセンターは、福祉センターの一部であり、その中に含まれているので制定の必要はない。

問 八幡小学校改築事業基本構想の内容は。

答 検討委員会で多くの案を比較・検討したが、最終的には現在の位置での建て替えとなった。限られた敷地を有効に利用するため測量調査をする。

池田ふれあいサポートセンター内
（旧ふれ愛の家）

問 安心子ども基金事業で購入の管理用備品の内容は。

答 病児・病後児保育事業開始に伴い、池田ふれあいサポートセンターに、おもちゃ等の殺菌用のものを2点購入する。

問 福祉ファックス保守管理委託料の内容は。

答 役場、保健センター、消防署、民生児童委員宅に設置している。民生委員40名の内20名が交代のため、ファックスの取り外し、清掃、テスト、移転、取り付けをするもの。

問 病児・病後児保育事業は、他市町からの受け入れも出来るのか。

答 関係機関と協議しながら進めていくが、利用者負担金をいただき、他市町の子どもも受け入れたい。この事業について病院でなく公共施設で実施するのは池田町が初めて。

問 ワールドウォーキング事業の内容は。

答 生活習慣病予防など健康に留意していただくため、保健センターに登録し、定期的に個人データをとり、数値目標をもって歩いてもらうもの。

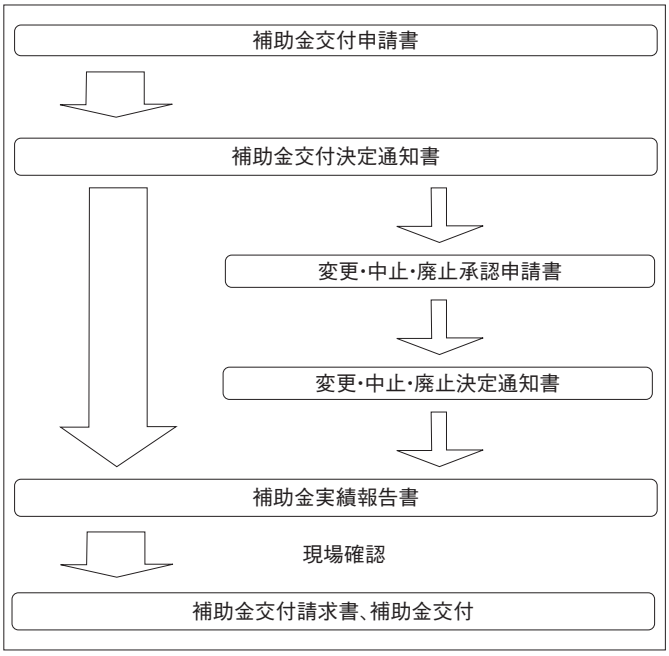
問 外国語活動推進事業について、英語教育の効果は。

答 小学校全学年を対象の年間指導計画の作成の段階。基本的には、小学生では英語に慣れ親しみ、楽しく学ぶことを主眼におき、中学校での英語教育につなげていきたい。

問 太陽光発電システム設置補助金の内容は。

答 太陽光発電普及拡大センターの1kw当たり7万円、上限28万円の補助金に、町として1kw当たり3万円、上限12万円を上乗せするもの。

住宅用太陽光発電システム設置整備事業
補助金の流れ（池田町）



問 池田小体育館のバドミントンコートを3面から4面にするのに330万円。昨年行われた改修工事の時にどうして行わなかったのか。

答 社会教育課と学校教育課の連携がとれず大変申し訳ない。

問 新たに始まった24時間対応の定期巡回、随時対応サービス事業と地域支援事業の関連は。

答 制度外の介護サービスとの関連もあるので、平成24年度の介護保険制度改正に向け、モデル事業として実施・検証していく。

問 11月18日から20日まで開催される「ぎふ清流国体リハーサル大会」の内容は。

答 競技運営について本番を想定して開催するもの。国体開催の際は、民泊も含め各自治会の全面的なご協力をいただきたい。

牧村範康 議員

光ネットワークの推進について

自治体としてのステータス向上を目指せ！

ネットと電話とテレビを一体としたフレッツ光など高速通信網の整備を望む住民の声が高いが、関連企業に働きかけをしているのか。

町長　ネットでの通販などは、今や生活の一部になっている。エリアの担当に導入のお願いをしているが費用の問題で進んでいない。今後は決定権のある本社に直接お願いする。

光高速通信網の整備は、自治体としてのステータスを高めることに繋がり、企業進出にもプラスの効果が出てくると考えるが。

町長　進出企業の意見はまだ聞いていない。今後は意向を聞きながら進めていきたい。

光ユーザー獲得のために自治体として出来る推進施策として何があると考えるか。

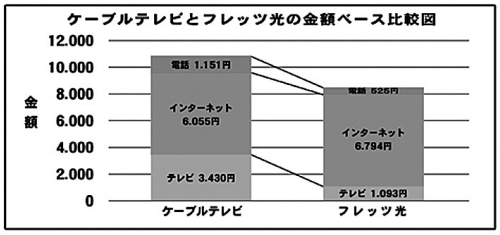
町長　池田町の事情を企業に説明して理解を得るところからやっていきたい。

【要　望】
地デジ対策としても積極的な導入を望む。普及の為の広報や説明会などでの公民館の解放を望む。

（1）調査の対象について

ケーブルテレビサービス（大垣ケーブルテレビ）	フレッツ光（NTT西日本）
テレビ：デジタルコース（地デジ、BS、CS）	テレビ：フレッツテレビ（地デジ、BS） スカパー！e2（CS）
ネット：光スーパー100（上り／下り100Mbps）	ネット：フレッツ光（上り／下り100Mbps）
電　話：ケーブルプラス電話	電　話：ひかり電話

※どちらも、キャンペーンなどの特別割引ではない。
※基本料のみの比較のみ。従量制やオプションパックは含まない。
※ケーブルテレビのサービスを基準に、フレッツ光のサービスも合わせている。



※戸建てを想定
※ケーブルテレビ：トリプル割引（735円）各サービス　245円（735÷3）を差し引いて算出してあります。

ケーブルテレビとフレッツの比較表

		大垣ケーブルテレビ	フレッツ光	
テレビ	デジタルコース	3,675		（地デジ、BS、CS）
	フレッツテレビ		683	（地デジ、BS）
	スカパー！		410	（CS）※オプション
	小　計	3,675	1,093	
インターネット	光スーパー100	6,300		
	回線料金		5,219	
	プロバイダー		1,575	ミライネットでの試算例
	小　計	6,300	6,794	
電　話	ケーブルプラス電話	1,396		
	ひかり電話		525	
	小　計	1,396	525	
合　計	値引前	11,371	8,412	
割　引		−735		（ケーブルテレビ、トリプル割）
合　計	値引後	10,636	8,412	

参考：大垣ケーブルテレビ（http://www.ogaki-tv.co.jp），　NTT西日本（http://flets-w.com）

地域ブランドの戦略的構築について

観光立町を目指し、「池田グルメプロジェクト」を

特産品を使用し商品開発を行い、積極的にメディアに訴えていくことは町のPRになる。道の駅オープン、飛騨美濃自慢の原石に指定された池田山などのハード面の整備と並行して、スイーツをテーマにソフト面の開発及び広報が重要であると考えるが。

町長　B−1グルメへの参加は難しいが、町内の団体の意見を取り入れて池田町なりのPRに取り組む。道の駅がきっかけに進んでいくと思う。

商品開発には、官民学が一体となり戦略的にコーディネートしていく必要があるが。

町長　岐阜農林高との特産品開発が商品化の可能性がある。昨年4月から職員によるプロジェクトチームができているので、グランプリや料理コンテストも含め考えて行きたい。そのための組織も検討する。

子育てタクシーの導入について

さらに安心して子育てができる施策の導入を

県の補助金を活用し、町内業者に働きかけ、かつ妊婦さんや乳幼児をもつ世帯に、通院・検診のタクシー料金を還付する条例整備は検討できないか。

町長　町内タクシー業者へ子育てタクシーの養成をお願いした。子供手当が基金として使えれば可能だが、現状では配偶者や家族が支援することが妥当だと考える。

一般質問

窪田弘子 議員

住民参加の町づくりとは？

町長は当選直後、「町民にまちづくりに参加してもらう事」が課題だと申されているが、どう取り組まれるのか。

町長　地域の人と一緒に何かやって行きたいという新住民の方などへの、情報提供が少なかったかと反省している。国の「農地・水・環境保全向上対策」や各地のお祭りは住民参加のいい例だ。今年作る自治基本条例の審議会には公募の委員も入ってもらう。

民間では成果の上がっているアイディア競争を、役場でもしてもらって、職員の町づくりへの参加・事務の改善を、見える形でやったらどうか。職員のやる気も出るし、町民の信頼感も増す。

町長　職員は日々改善に取り組み、それは私も評価している。いいものであれば公表したり、表彰したり、何らかの昇給手当も必要だと思っている。

観光地をめざし景観条例を

池田山ふれあい街道から温泉付近を対象に、景観条例を作られたい。看板が乱立しないように。あの絶景がさえぎられるような、高い物は建てないように。さらには景観に寄与するような木造の家の新築には、褒美を出したらどうか。

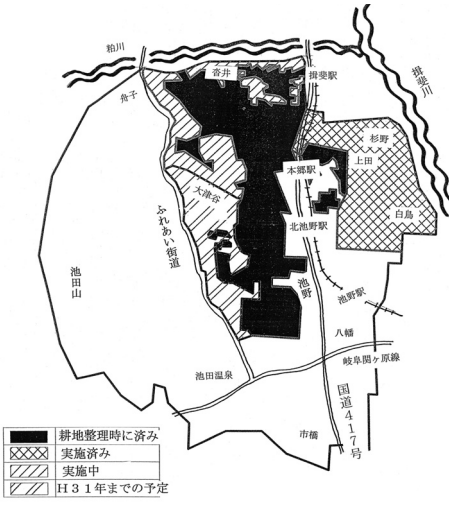
町長　ふれあい街道から上は国・県の公園で規制がかかる。県内でも11市1村に景観条例があり、当町も検討が必要だ。

ふれあい街道ぞいの耕作放棄地は町が仲立ちして売るなり貸すなりして広葉樹などを植えたら、コストをかけずにいい風景ができるのではないか。

景観条例を定め、看板規制などしていい風景に。

町長　土地を有効に利用していただける方に使ってもらうよう、粘り強く取り組む。

池田町地積調査実施状況



池田山を含め白地の所はまだこれから。30年はかかる。

地籍調査、今後の見通しは

土地の境界や所有者を確定する地籍調査がしてあれば、土地の売買や災害時など大助かりだ。費用は国が9割、県・町が各5％でできるが、池田町も事業を始めて10年、現状と予定は。

町長　池田町の農地以外の平地を毎年0.3㎢位実施中。終わるまでにまだ30年かかる。宮地・西地区に平成31年までかかる。メリットの多い事業なので何とか早くやりたい。

竹中芳弘 議員

道路整備計画は

国道417号線は、信号の多さや、交通量、片側1車線、曲がりの多いことなどから、国道の機能に欠けている。今便利なことから、西幹線道路の利用が急速に増えている。しかし片山北の集落内道路は、見通しが悪く、狭くて危険だ。「道の駅池田温泉」付近か、ふれあい街道からの道路計画は出来ないか。

町長　都市計画の街路事業として指定を受けたことがある。政権交代や、県の財政も厳しい中、道路関係の予算が非常に少なくなっている。時間のかかる問題だが、県と調整して進めていく。

狭く、曲がりくねって危険（片山北）

ふれあい街道に大型観光バスを通して、観光に力を入れる考えですが、サイクリング・ハイキングで利用する人もある。歩道や展望台、駐車場を設ける考えはあるか。

町長　昭和43年農林省予算をもらい、農道でスタートした。全長で6.3kmあって観光道路として県に調査してもらいたいと働きかけている。部分的に側道をつくったり、整備していきたい。又展望場所も考えている。

東幹線道が次第に出来てきた。町長は、東地区での企業誘致に積極的な考えですが、連絡道路は十分な巾が必要と考えるがどうか。

町長　都市計画の街路事業計画に入っている。ゲンキーの所から東へ幹線部分に歩道を考えたい。短時間で東海環状に入れる道路計画が必要だ。

ハリヨを池田町の魚に再度問う

昭和41年清水池一帯のハリヨが県の天然記念物に指定された。絶滅希少生物として区民一体となって、清掃や水環境の保全に努めている。町民に関心と、誇りを持ってもらうために町の魚としての制度を望む。

町長　池田町は山桜を町の木に、花はお茶の花と昭和48年に、一般公募して決めた。今後環境条例作成のプロセスの中で、一般公募して、決めたい。来年の国体で全国にPR出来たらいい。

営巣作りと汚土撤去（中川）

一般質問

坂口　博 議員

河川管理について

池田町は41％の山地を擁し、14の砂防河川、南北に国道が、また一級河川の杭瀬川が南下している。この川も洪水によって、雑木の種や枝が流れ着く。生長も早い。台風シーズンを迎える迄に雑木の伐採、浚渫作業の実施を。

異常出水対策の内、河川維持修繕事業で対応、堤防の内側、腰から肩までの補強工事を順次実施されたい。外来種のヌートリア、住む所もなくなる。一石二鳥だ。

昔捕獲すると報奨金が出たが、考えてみてはどうか。

河川へのゴミの不法投棄が往々にして見られる。山の中も同様、対応はいかがか。

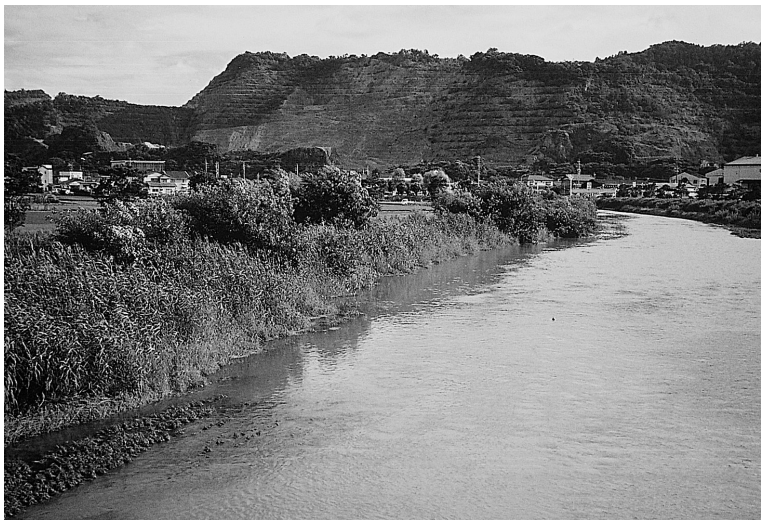
町　長

砂防河川を含めて河川管理は大切なものと認識、災害があると下流地域への負担、上流地域の防災上の問題等、国、県の方へ継続的にお願いして行く。また、同時に南部地域における杭瀬川を始め、他の一級河川の中に草、雑木が生い茂っている事実も承知。毎年、県土木へ申請し、浚渫等については、泥の置場の確保が出来れば、予算化も可能だ。護岸工事も継続して実施する。

捕獲について、有資格者に許可を出しながら対応したい。

河川関係のゴミ処理の状況ですが、中学生を含めクリーンカムバック、町として実施したり、区長を中心に自然保護委員協力のもと実施しているが、なかなか成果が上がりません。住民の方のモラルの問題、先の子供議会においても2、3人から質問があり、子供の目から見ても良くない状況です。今後そういった面での会話を進めて行きたい。

池田町として河川と向き合って防災上、あるいは下流の地域に住んで見える皆さん方に安心していただけるような対策も進め、県へ継続的に要望していきたい。



雑木が茂る杭瀬川（中川橋付近）

土川　博 議員

観光資源としての池田山とは

桜やもみじなどの観賞用の樹木を将来を見据えて植栽する中、霞間ヶ渓や、大津谷の山麓から山頂、さらには山頂から山麓へ戻る遊歩道を整備することにより、春は花見、夏はバーベキューや川遊び、秋は紅葉、冬は登山の名所となり、池田山及びふれあい街道一帯が四季を通じての観光名所とならないか。

町　長

山道、作業道や林道をつなげて池田山を周回する遊歩道として整備することも考えられる。池田山には、山麓も含めて観光の拠点となるものがあるので、それを含めて山頂へのルートを周回するような形で考えたい。池田山は池田町のシンボルであり、岐阜県の飛騨、美濃観光「自慢の原石」に選ばれており、今後は、池田町の「宝」となるようにしたい。

将来的に池田町の上高地？（大津谷公園）
延長が望まれる遊歩道

池田山は観光、健康、環境などいろんな面で取り組むことが必要。

町　長

従来からの観光名所に加え、ブルーベリーなどの観光農園、歴史的に価値ある場所の発掘、子供たちの学習の場としての整備など、新たな拠点となる箇所の中で、一体的に整備できないかと考える。池田山に対する夢を持ちながら、多くの方に来ていただけるような方策を立てたい。

道の駅池田温泉の管理体制は

道の駅にはいろいろな役割があり、期待も大きいが、トータル的に管理する体制はできているのか。

町　長

駅長を公募するなか、道の駅設置条例の制定、定期的に開催する運営協議会の設置、関係機関の連絡調整体制の確立をしたい。また、池田温泉の一角に駅長スペースを確保し、池田温泉と道の駅が連携して運営できるようにする。

建設中の“道の駅池田温泉”販売ブース

情報発信基地としての考え方は

町　長

池田温泉や道の駅でイベントを開催するなどして、特産品の販売と共に、郷土芸能の発表もしてもらう。また町内を散策するコースの設定、レンタルサイクルを置くなど、町内全体を見て回っていただけるようにしたい。

一般質問

野網義一 議員

子ども・子育て新システム＝保育の産業化

公的保育の解体・保育の質の低下が心配

政府は現在の公的保育制度を解体し、平成25年度から「子ども・子育て新システム」の導入を計画している。「新システム」は、待機児童の解消と既存の社会資本の有効活用をうたい、幼児教育、保育の総合的な提供（幼保一元化＝こども園）をしようというもの。

介護保険がシルバー産業化したように、今度は子育ての分野での産業化が心配される。①基準緩和で保育の質が低下。②町の保育義務が消滅し、保育時間の認定だけを行う③各種オプションや認定時間外で保護者へは負担増④人件費の抑制のため保育士のパート化など保育労働条件の悪化など心配されている。

保護者はこども園と直接契約することになり、待機児童の把握はできなくなる。

町長　それで待機児童が解消されるとは思わない。新システムに疑問を抱いている。町はすでに幼保一元化をしている。平成25年度スタートで給付金制度に変わるようだ。

住宅リフォームの助成で安全・快適な住環境と地域活性化を！

東海地方もいつ大地震が来てもおかしくないのに住宅の耐震補強が一向に進まない。また、下水道も池野市街地に入り、加入率が80％を割った。高齢化に伴う住宅のバリアフリー化など需要は大きい。

全国で約一割の自治体が住宅リフォーム制度を実施。助成額は別表のとおり。工事は町内の業者に限定されているため、業者も大歓迎。経済波及効果も十数倍と大きい。

町長　耐震補強が進まないのは、古い住宅は基礎を全部やり直さなければならないから。

住宅の玄関先やトイレのバリアフリー化は必要と考えられるが、他市町の制度も研究し慎重に対応したい。

県内市町の住宅リフォーム助成状況と近江八幡市

自治体名	開始時期	工事費（万円以上）	補助率（％）	補助限度額（万円）
可児市	2010.4.1	50	10	10
飛騨市	2010.11.1	10	33	50
美濃加茂市	2011.1.1	20	10	10
郡上市	2011.2.1	50	20	30
養老町	2011.4.1	20	20	10
恵那市	2011.4.1	10	10	10
揖斐川町	2011.4.1	50	5	5
羽島市	2011.4.1	20	10	10
近江八幡市	2010.8.16	10	15	30
	70歳～.障がい者	3	50	30

※養老町は地域振興券（10万円分）近江八幡市は弱者に配慮がされている。

新設された松戸排水の樋門

南部公園の有効活用を

平成24年秋から八幡小学校の改築が始まり工事中はグラウンドが使えない。南部公園は水位が高く排水が悪いため使えない日が多い。南側の部分を削り、グラウンドは少しかさ上げし勾配をつけられたい。テニスコートの利用が少ない、どこに原因があるのか。

町長　昨年から排水の溝を2本つくり水が早く引くようになった。グラウンドの水たまりは砂で補修しながら対応したい。テニスコートの利用が少ないのは貸し借りで総合体育館まで行かなければならないからと考える。改善したい。

いけだ 議会だより
3月定例会 No.140
平成23年5月1日

きらり

がんばっている町民の方を紹介します。
今回は、養基地区で粕川大鼓踊り保存会の発足から中心になって活動してこられた、細野勝さん（沓井）へのインタビューです。

1．粕川大鼓踊りの由来は？

粕川太鼓踊り保存会のきっかけは、教如上人と、その父親の顕如上人をたたえた春日地区伝統の手踊りで400年の歴史があるが、担い手の高齢化などから継承が困難な状況でした。そんな中、養基地区や、池田町には大勢の春日出身の住民がおられますので、この人たちに呼びかけて伝統を後世に残そうと14年前に発足しました。

2．いまどんな活動をしておられますか。

メンバーは現在高齢化が進んでおりますが、池田町、揖斐川町で三十数名が毎月第２木曜日夜八時から１時間半、養基公民館で練習しております。

発表の場として、熊野神社（沓井）祭礼の奉納踊り、養基公民館の文化祭、池田町のふるさと祭りなどに参加させていただいています。

3．これからどんな方向を目指しますか。

メンバーの高齢化の中で、地域の子ども達にも働きかけ、この地域の伝統芸能につながればありがたいことです。

会員のモットーは、楽しく踊り喜びのもてる交流が出来れば最高です。

（遠藤和雄）

編集後記

新年度になり編集委員会も新しいメンバーに代わった。東日本大震災が発生して一カ月が経つ。死者が一万三千人を超え、行方不明者は一万四千人以上。震度４以上の余震も多発し落ち着かない。おまけに福島原発の放射能汚染。地震の緊急通報システムや津波警報が瞬時に発表されたにも関わらずこんなに多くの犠牲者を出した。どこに原因があるのか。また、原発の被害は、当初は「たいした事ない」と言っていたのに、今ではチェルノブイリ原発事故と同じレベル７。ここには二つの問題がある。一つは情報を提供していたにも関わらず受け取られなかった事、もう一つは、正しい情報を伝えなかった事。住民参画・協同のまちづくりにとって貴重な教訓となった。広報編集委員会として情報公開に努めます。

（野網義一）

土川　博　　遠藤和雄
窪田弘子　　野網義一　　坂口　博

寄付行為の禁止

議員はお祭りへの寄付や町内会の催し物へ差し入れすることを禁止されています。有権者が求めてもいけません。ご理解をお願いします。

編集／池田町議会広報編集委員会
発行責任者／池田町議会議長　岩谷真海
住所／〒503-2492　岐阜県揖斐郡池田町六之井1468-1
TEL／0585-45-3111　FAX／0585-45-8314